

6 . 南部地域のまちづくり

(1) 南部地域の概況

本地域はさぬき市の南部に位置し、東は東かがわ市、南は徳島県、西は三木町に接している地域です。

本地域の大部分が山林であり、山間を流れる川も多く、水資源も豊富です。

平野部がほとんどないため、農地や宅地は非常に少ない面積となっていますが、豊かな自然資源を活用したレジャー・レクリエーション機能や、四国遍路八十八カ所“結願(けちがん)”の地として、讃岐山脈の多和には88番札所の大窪寺があり、自然や歴史との共生をすすめている地域です。

山間部は標高約300m以上の讃岐山脈で、最高峰の矢筈山(788m)は「四国百山」に選ばれています。また、最南部は、香川県では唯一の吉野川水系です。



(2) 南部地域の現状と課題

1) 現状について

前山ダム周辺には、親水公園が整備されているとともに、アクセス道路となる主要地方道志度山川線が長尾寺から本地域南端の大窪寺までのへんろ道としても利用されているため、へんろ資料展示室やおへんろ交流サロン、道の駅が整備されています。

今後も拠点性を高め、各施設の利便性の向上を図っていくことが重要です。

(図)

本地域の北側に東西を横断する大川南部農道の整備計画が進行中であり、南部地域の東西連絡道路としての活用が期待されています。(図)

本地域の大部分は山林であり、さぬき市の豊かな自然環境を形成しています。その中に、前述の前山ダムや門入ダム、大川ダムがさぬき市の水源とし

て整備されています。

門入ダム周辺には、親水公園や温泉施設が整備され、自然と触れ合う拠点となっています。今後は他の観光施設等とのネットワークを強化し、自然をテーマにした観光拠点として整備していくことが重要です。(図)

南川自然の家は、旧小学校校舎と校庭を有効活用し、キャンプや体験学習ができる施設となっています。このような公共施設の有効活用を進め、自然と親しむ場の創出を図っていくことが重要です。(図)

本地域の南端には、四国霊場八十八ヵ所の 88 番(結願札所)の大窪寺があり、多くの人を訪れています。歴史的に重要な拠点として位置づけ、周辺環境の整備と維持管理をしていくことが重要です。(図)

歩行者はへんろ道(四国のみち、新四国のみち)の利用が多くなっています。また、近年は車での移動が多いため、大窪寺までの道路(主要地方道志度山川線、国道 377 号)の整備も進んでいます。今後も、より一層安全性や景観に配慮した整備を進めることが重要です。(図)

国の重要文化財である細川家住宅は、山間の生活集落内にあるため、生活者に配慮した維持管理・活用促進が必要です。(図)

平成 16 年の台風により、大川ダム、門入ダム、前山ダムの周辺では土砂災害が多発し、大きな被害を受けました。そのため、山間部の治山・治水対策を早急に進める必要があります。(図)



① ②

前山ダム周辺には、おへんろ交流サロンや道の駅があり、お運路さんや観光客が立ち寄る拠点となっている。今後も拠点性を高め、施設の利活用を促進していくことが重要である



⑬

国の重要文化財である細川家住宅は、山間の生活集落内にあるため、生活者に配慮した維持管理・活用促進が必要である



⑨ ⑩ ⑪ ⑫

歩行者はへんろ道（四国のみち、新四国のみち）の利用が多くなっている
また、近年は車での移動が多いため、大窪寺までの道路（主要地方道志度山川線、国道377号）の整備も進んでいる
今後も、より一層安全性や景観に配慮した整備を進めることが重要である

③

本地域の北側を東西に横断する農道の整備が計画されており、南部地域の東西の連絡道路となることが期待されている

④ ⑤

門入ダム周辺には、親水公園や温泉施設が整備され、自然と触れ合う拠点となっている。今後は他の観光施設等とのネットワークを強化し、自然をテーマにした観光拠点として整備していくことが重要である



⑥

南川自然の家は、旧小学校校舎と校庭を有効活用し、キャンプや体験学習ができる施設となっている。このような公共施設の有効活用を進め、自然と親しむ場の創出を図っていくことが重要である

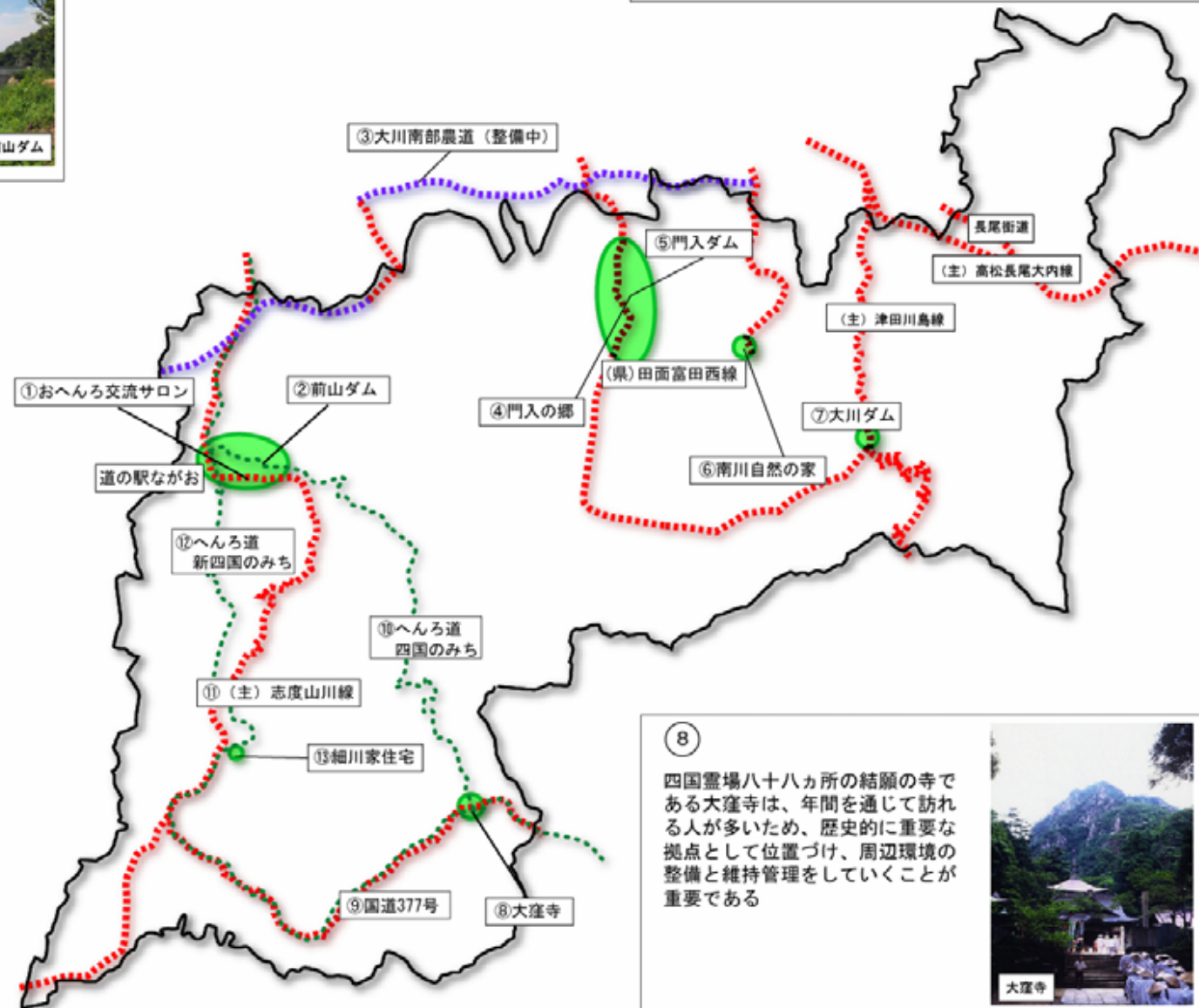


② ⑤ ⑦

平成16年の台風により、大川ダム、門入ダム、前山ダムの下流では土砂災害が多発し、大きな被害を受けました。そのため、山間部の治山・治水対策を早急に進める必要がある

⑧

四国霊場八十八カ所の結願の寺である大窪寺は、年間を通じて訪れる人が多いため、歴史的に重要な拠点として位置づけ、周辺環境の整備と維持管理をしていくことが重要である



(3) 南部地域のまちづくりの目標

1) 水と緑の自然の保全とふれあい環境づくり

河川、ダム湖、ため池等の水辺環境と森林の自然環境の保全及びそれらを活用したレジャー・レクリエーション環境の充実を図り、自然とふれあえる“癒し”のネットワークづくりを進めます。

2) 歴史的資源を活用した拠点づくり

地域に点在する歴史的資源を活用し、自然と調和した拠点づくりと歴史資源ネットワークの形成を図ります。

(4) 南部地域の将来的な空間構造

1) 都市軸

主要地方道高松長尾大内線、国道377号を市外と地域を結ぶ「都市間連携軸」と位置づけます。また、市内を南北に連絡する主要地方道志度山川線、主要地方道津田川島線、県道田面富田西線、及び東西に連絡する大川南部農道（整備中）、中部地域へつながる長尾街道を「都市内連携軸」と位置づけます。

さらに、中部地域からつながる鴨部川、津田川を「水辺アメニティ軸」として、前山ダムや大川ダム及び門入ダムと一体的な整備を図るとともに、長尾寺から大窪寺に向かうへんろ道（四国のみち、新四国のみち）を「遍路・歴史ネットワーク軸」として沿道環境の整備に努めていきます。

2) 拠点

主要地方道志度山川線沿道の前山ダム付近のおへんろ交流サロンや細川家住宅、大窪寺等を「歴史・文教振興拠点」と位置づけます。

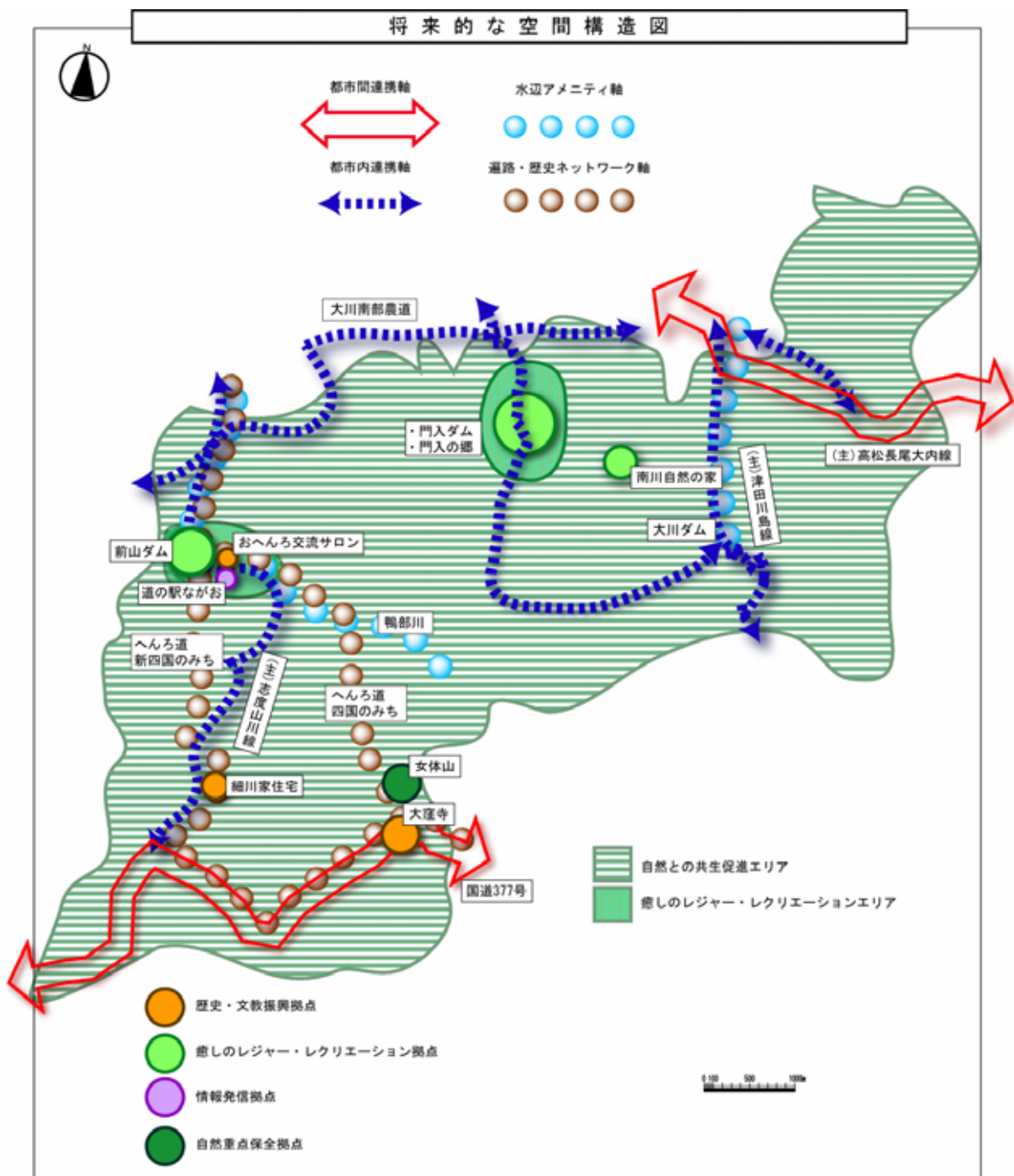
また、前山ダム周辺、門入ダム周辺、門入の郷、南川自然の家周辺については、「癒しのレジャー・レクリエーション拠点」として、良好な自然環境と親しむ空間づくりに努めます。

おへんろ交流サロンに隣接する道の駅ながおについては、市内にある他の二つの道の駅と同様に、「情報発信拠点」として位置づけ、来訪者に対してさぬき市や本地域の情報発信を進めます。

さらに、女体山周辺については、「自然重点保全拠点」として良好な自然環境保全に努めます。

3) エリア

本地域の大部分を占める山林地帯については、「自然との共生促進エリア」として、自然環境の保全に努めます。また、前山ダム周辺や門入ダム周辺、門入の郷については、「癒しのレジャー・レクリエーションエリア」として、豊かな自然環境を活用し、市民と来訪者の憩いの場づくりを進めます。



(5) 南部地域のまちづくりの方針

1) 南部地域の土地利用方針

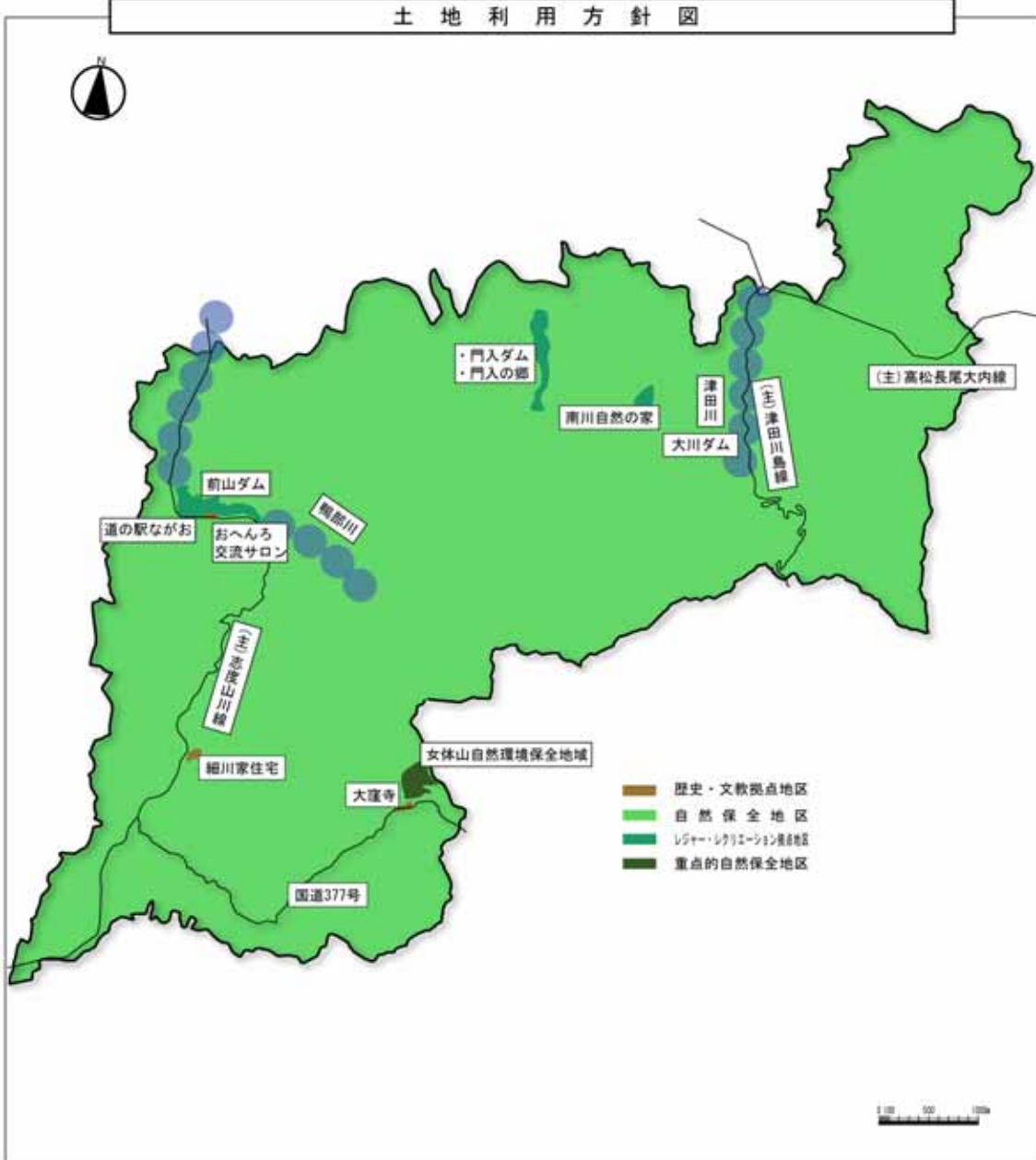
へんろ資料展示室のあるおへんろ交流サロンや国の重要文化財である細川家住宅、大窪寺周辺を「歴史・文教拠点地区」として、地域の歴史・文化資源の保全と活用、来訪者への情報発信等を図るとともに、施設の適切な維持管理と周辺環境の整備を進めます。

本地域の大部分を占める丘陵山地については、「自然保全地区」として、森林や生態系、水質の保全に努めます。

前山ダム周辺や門入ダム周辺、門入の郷、南川自然の家等は、「レジャー・レクリエーション拠点地区」として、緑とうるおいある癒しの空間づくりを進め、市民と来訪者の憩いの場としての活用を図ります。大窪寺がある女体山の一部の 12.38ha が香川県自然環境保全地域として指定されているため、「重点的自然保全地区」として位置づけま

す。

土地利用方針図



2) 南部地域の整備方針

道路網等の整備方針

- ・ 北方を東西に横断する大川南部農道を整備し、地域内の東西連携軸の強化を図ります。
- ・ 長尾寺から大窪寺まで続くへんろ道（四国のみち、新四国のみち）は、山間を通る道のため、あずまの整備など歩行者が安心して歩ける道づくりを進めるとともに、主要地方道志度山川線についても、沿道整備を進めます。
- ・ 主要地方道高松長尾大内線、長尾街道、主要地方道津田川島線は東部・中部地域との地域間連絡道路として、計画的な整備を検討・推進します。
- ・ 三木町から東かがわ市へつながる国道 377 号は、大窪寺へのアクセス道路でもあることから、整備・改良を推進します。
- ・ 県道田面富田西線については、門入ダムから山間部を抜けて、主要地方道津田川島線につながる生活道路として、改良を推進します。

自然・田園環境、河川、公園、緑地等の整備方針

- ・ 前山ダムや門入ダム、大川ダムなどのさぬき市の水源を保全していくとともに、女体山をはじめとして南部地域一帯に広がる山林・生態系の保全に努めます。

その他の施設等の整備方針

- ・ 前山ダム周辺のおへんろ交流サロンや道の駅については、さぬき市のお遍路ネットワークの交流拠点として、情報発信機能を強化するとともに、周辺の自然環境と調和した空間づくりを進めます。
- ・ 四国霊場八十八カ所の結願の寺大窪寺については、文化財として保全するとともに、周辺環境の整備を進め、来訪者が癒しを得られる霊場づくりを進めます。
- ・ 南川自然の家については、自然体験施設として市民の利用を促進するとともに、休耕田を活用した農業体験などのメニューの充実を図ります。
- ・ 門入ダム周辺の門入の郷は、緑と潤いある交流施設として、市民や来訪者の利活用を促進します。

- ・ 台風や集中豪雨によるダムや河川の氾濫、土石流等の災害に備え、山間部の治山・治水対策の強化を図ります。
- ・ 細川家住宅については、国の重要文化財として積極的な保全と活用に努めます。

整備方針図



道路網等凡例

整備中・整備計画中の道路	
県道・市道	
主要地方道	
国道	
へんろ道・四国のみち	

整備方針等凡例

	道路・鉄道網等の整備
	自然・田園・河川・緑地等の整備
	その他施設等の整備

県道田面富田西線については、門入ダムから山間部を抜けて、主要地方道津田川島線につながる生活道路として、改良を推進します。

北方を東西に横断する道路を整備し、地域内の東西連携の強化を図ります。

門入ダム周辺の門入の郷は、緑と潤いある交流施設として、市民や来訪者の利活用を促進します。

前山ダム周辺のおへんろ交流サロンや道の駅については、さぬき市のお遍路ネットワークの交流拠点として、情報発信機能を強化するとともに、周辺の自然環境と調和した空間づくりを進めます。

長尾寺から大窪寺まで続くへんろ道（四国のみち、新四国のみち）は、山間を通る道のため、あずまの整備など歩行者が安心して歩ける道づくりを進めます。

細川家住宅については、国の重要文化財として積極的な保全と活用に努めます。

三木町から東かがわ市へつながる国道であり、大窪寺へのアクセス道路でもあることから、整備・改良を推進します。



東部・中部地域との地域間連絡道路として、計画的な整備を検討・推進します。

南川自然の家については、自然体験施設として市民の利用を促進するとともに、休耕田を活用した農業体験などのメニューの充実を図ります。

前山ダムや門入ダム、大川ダムなどのさぬき市の水源を保全していくとともに、女体山をはじめとして南部地域一帯に広がる山林・生態系の保全に努めます。

台風や集中豪雨によるダムや河川の氾濫、土石流等の災害に備え、山間部の治山・治水対策の強化を図ります。

四国霊場八十八カ所の結願の寺大窪寺については、文化財として保全するとともに、周辺環境の整備を進め、来訪者が癒しを得られる霊場づくりを進めます。

大窪寺周辺の商業施設

